

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー新静岡駅前教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日 ~ 2025年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	30名	(回答者数)	24名	
○従業者評価実施期間	2025年 7月 24日 ~ 2025年 7月 31日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	5名	(回答者数)	5名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マニュアルを用いた支援ではなく、利用者様に合わせたオリジナルの支援を提供している。	日々の支援やフィードバック、定期的な面談を行い、保護者様と支援の方向性を確認する機会を持っている。 職員間で情報共有を行っている。	引き続き、朝礼・終礼等で情報共有、確認を行い支援に繋げていく。 定期的な面談を行い保護者様のお悩みに迅速に対応ができるようにしていく。
2	色々な経験を持った職員が多角的な支援を行う。	個別支援計画の検討会議では全員が意見を言う機会を持ち、意見交換を行っている。 教室イベントでは全員でアイデアを出し合い、切磋琢磨している。	引き続き、検討会議やイベント会議の充実を図っていく。
3	支援担当制ではなく、様々な職員が支援や面談を行う。	朝礼・終礼等で情報共有を行い、利用者様全員の情報を職員全員で共有している。 支援前には必ず支援記録を確認し、支援後は他の職員に伝わりやすい記録作成を意識している。	引き続き、口頭や文章での情報共有を丁寧に行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の周知。	イベントや教室アンケート等発信しているが、全体周知が弱い。	チラシの掲示だけではなく、保護者様への声かけも併せて行っていく。
2	支援内容や支援担当者が変わる。	情報共有の不足を心配されている。	以前の様子を振り返って成長した部分を伝えたり、前回の支援から発展した支援内容を伝える等、丁寧なフィードバックや面談を行っていく。
3	地域のお子様と活動する機会が少ない。	地域連携等で職員間の共有はなされているが、合同イベント等一緒に活動に参加する機会が設けられていない。	イベント等を通じて地域の事業所やお子様と関わる機会が増えるよう地域資源を探していく。